

シンポジウム名古屋開催ご案内
テーマ：構造設計者の使命・目標・責任に関する討論会
－提言「建築の構造設計—そのあるべき姿」－

NPO法人建築技術支援協会は、ベテランから若い人、専門家から一般の人への正しい建築技術の橋渡し役を務めてきました。このたび、構造技術者の討論を支援することを目的に、建築学会から発行された「建築の構造設計—そのあるべき姿」をテキストとして表題のテーマにより全国各地でシンポジウム・パネルディスカッションを行うものです。

耐震偽装問題発生から5年が過ぎ、建築基準法の改正、建築士法の改正が行われ法体系は整備されましたが、最も重要な、構造技術者自らの、使命・目標・責任等についてたがいに議論する場がないままにきています。この度の建築学会の本書は、これらをレビューするための最適な資料と考えます。

主 催：NPO 建築技術支援協会(サーツ=PSATS)

共 催：(社)日本建築構造技術者協会(JSCA)中部支部

後 援：(社)日本建築学会東海支部 (予定)

※このシンポジウムは(財)建築技術教育普及センターの事業助成によるものです

日 時：平成23年2月3日(木) 13:20～17:00 (13:00 開場)

会 場：名古屋工業大学 2号館1階のF2教室 (0212教室)

※場所は右記をご覧ください <http://www.nitech.ac.jp/access/index.html>

進行・司会 NPO 建築技術支援協会

- 内 容：1) 挨拶：和田 章【NPO 建築技術支援協会代表理事、東京工業大学教授】10分
—挨拶・趣旨説明等— 13:20～13:30
- 2) 基調講演：市之瀬敏勝【名古屋工業大学教授】
「RC 規準の歴史と将来展望について」 13:30～14:10
- 3) 提 言：小堀 徹【(株)日建設計常務執行役員 名古屋事務所代表】30分
「建築の構造設計—そのあるべき姿」 14:10～14:40
- 4) サブ提言1：大野 富男【(株)日建設計 名古屋事務所構造代表席】20分
提言から「構造設計者の役割・職能を考える」 14:40～15:00
- 5) サブ提言2：飯嶋俊比古【(株)飯島建築事務所社長】20分
提言を「設計例で考える」 15:00～15:20
- 6) サブ提言3：橋村 一彦【(財)愛知県建築住宅センター理事】20分
提言から「法制・その目指すものを考える」 15:20～15:40
- 休憩 (10分)
- 7) パネル・ディスカッション 15:50～17:00

参加料：無料 (「建築の構造設計—そのあるべき姿」(建築学会)をお持ちの方はご持参下さい)

◆なおテキスト：「建築の構造設計—そのあるべき姿」(建築学会)は会場でも販売致します
定価 1200 円(税込)

◆本講習は(社)日本建築構造技術者協会の JSCA 建築構造士登録更新の評価点対象講習会(定)です

[参加申込み](#)